

## 8-1-2 道路会社業務検討WG (NEXCO)

### 1. 道路会社業務検討WGの概要

#### (1) 道路会社業務検討WGの活動目的

高速道路会社との意見交換を実効化、具体化するために設置された。双方の実務者からなる実務者検討会の運営を主な活動としている。

#### (2) WGの構成

WGは東日本・中日本・西日本の各高速道会社業務検討チームで構成され、各チームは本部委員あるいは支部委員で構成されている。

各高速道路会社との実務者検討会は、協会側メンバーと道路会社側メンバーで構成され、業務に関する具体的課題解決に取り組んでいる。

### 2. 主な活動の記録

過去の意見交換会やアンケート調査から抽出した施工管理、大規模更新・修繕、設計、積算などの課題に取り組んだ。NEXCO業務は今後さらに事業の追加が見込まれる中、耐震補強業務などでの不調の増加や、受注者による設計ミスなど事業進捗への影響が懸念される。

#### (1) 東日本高速道路会社

3回の実務者検討会を開催した。

##### a) 施工管理員育成

新規の施工管理員の育成について NEXCO 側でも多様な施工管理業務の実施方法に関して統一したマニュアルなどが無くベテランによる徒弟制度的なオンザジョブトレーニングしか育成方法がないことが新規参入者育成の障害になっている (3 会社共通)。

##### b) 積算

特に橋梁の基本設計の図面の簡略化について NEXCO 3 会社と建コン協で調整を継続中 (3 会社共通)。

##### c) 特記仕様書

記載内容の明確化など改善が進んでいる。

##### d) 働き方改革

ウィークリースタンスはかなり遵守されるようになった (3 会社共通)。

##### e) 設計変更ガイドライン

令和4年7月に設計変更ガイドラインが改訂

された (NEXCO 中日本も同時期改訂)。

#### (2) 中日本高速道路会社

3回の実務者検討会を開催した。

##### a) 耐震補強設計

依然として不調不落が多く NEXCO 業務に支障をきたしており、応札意欲が湧く改善について議論を継続中 (3 会社共通)。

##### b) 難易度の高い設計業務の増加

既設の高速道路との一体化や近接施工など本体設計の難易度が高いだけでなく、施工計画や交通規制計画なども複雑な業務が増加している (3 会社共通)。

##### c) 施工管理業務

将来的な人員の更新に備え、業務簡略化や書類削減およびDX化など効率化の推進について議論を進めている (3 会社共通)。

##### d) BIM/CIM 業務

建コン協も参加して i-Construction の検討会を実施中。

#### (3) 西日本高速道路会社

3回の実務者検討会を開催した。

##### a) 既存資料のデータベース化

4 車線化や改築事業の効率的な実施のため既存資料の保存や検索性を上げることが重要で、データベース化について要望していく (3 会社共通)。

##### b) 設計成果品のミスの削減

受注者のミスが多くなっており、丁寧な設計が求められている。しかしながら、中には発注者側に改善を求めるべき点も散見されるため、議論を深める (3 会社共通)。

### 3. 次年度の活動について

次年度は、不調不落の削減、業務の効率化、DX化についても議論を深める。また、施工管理業務の効率化、管理員教育の改善による少人数での施工管理業務の遂行、設計変更ガイドラインの継続的な見直し、BIM/CIM 業務の確立などを目標に実務者検討会を実施する。

(道路会社業務検討WG (NEXCO) WG長

鈴木 卓)